

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【公表番号】特表2013-509475(P2013-509475A)

【公表日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-013

【出願番号】特願2012-535826(P2012-535826)

【国際特許分類】

C 08 L 101/10 (2006.01)
 C 08 K 5/57 (2006.01)
 C 09 D 171/00 (2006.01)
 C 09 D 133/08 (2006.01)
 C 09 J 171/00 (2006.01)
 C 09 J 133/04 (2006.01)
 C 09 J 11/02 (2006.01)
 C 09 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/10
 C 08 K 5/57
 C 09 D 171/00
 C 09 D 133/08
 C 09 J 171/00
 C 09 J 133/04
 C 09 J 11/02
 C 09 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月25日(2013.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

成分として、

(a) 一般式(I)：

-A_n-R-SiXYZ (I)

[式中、

Aは2価の結合基であり、

Rは、場合によりヘテロ原子を含む炭素数1～12の2価の炭化水素基であり、

X、Y、Zは、互いに独立して、C₁～C₈アルキル基、C₁～C₈アルコキシ基またはC₁～C₈アシルオキシ基であり、少なくとも1つの基がC₁～C₈アルコキシ基またはC₁～C₈アシルオキシ基であり、

nは0または1である]

で示される少なくとも1つの末端基を有する少なくとも1つのポリエーテルおよび/または少なくとも1つのポリアクリル酸エステル、および

(b) 少なくとも1つの有機スズ化合物、

(c) スズおよびケイ素原子を含まず、それぞれ、カルボキシ基、カルボニル基、ヒドロ

キシ基および本来芳香族環系の一部である窒素原子から選択される少なくとも2つの官能基を有する化合物であって、該成分(c)が少なくとも1つのN-複素環式芳香族化合物または-ヒドロキシカルボン酸を含み、N-複素環式芳香族化合物が8-ヒドロキシノリン、2-ヒドロキシキノリン、7-ヒドロキシ-3H-インドール、8-ヒドロキシキノキサリン、8-ヒドロキシキナゾリン、8-ヒドロキシシンノリン、4-ヒドロキシフェナントリジン、4-ヒドロキシアクリジンおよび1-ヒドロキシフェナジン(それさらなる置換基を有することができる)を含む少なくとも1つの化合物を含む硬化性組成物。

【請求項2】

成分(c)の化合物の総量と成分(b)の化合物の総量のモル比(モル/モル)が1:10~10:1である請求項1に記載の硬化性組成物。

【請求項3】

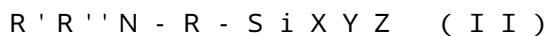
成分(a)が、4000~100000g/モルの分子量M_nを有する少なくとも1つのポリエーテルを含む請求項1または2に記載の硬化性組成物。

【請求項4】

成分(a)が、ASTM D4671法により測定した、0.07mEq/g未満の末端不飽和を有する少なくとも1つのポリエーテルを含む請求項1~3のいずれかに記載の硬化性組成物。

【請求項5】

接着促進剤として、一般式(I I) :



[式中、

R'およびR''は、互いに独立して、水素またはC₁~C₈アルキル基であり、

Rは、場合によりヘテロ原子を含む炭素数1~12の2価の炭化水素基であり、

X、Y、Zは、互いに独立して、C₁~C₈アルキル基、C₁~C₈アルコキシ基またはC₁~C₈アシルオキシ基であり、少なくとも1つの基がC₁~C₈アルコキシ基またはC₁~C₈アシルオキシ基である]

で示されるシランを含む請求項1~4のいずれかに記載の硬化性組成物。

【請求項6】

100重量部の成分(a)、

0.5~25重量部の接着促進剤、

0.01~10重量部の成分(b)、

0.001~100重量部の成分(c)、および、任意に、

0~125重量部の可塑剤、

0~125重量部のフィラー、

0~25重量部の乾燥剤または水スカベンジャー、

0~10重量部のさらなる添加剤、例えば、顔料、安定化剤、UV吸収剤、抗老化剤、酸化防止剤、レオロジー助剤、希釈剤若しくは反応性希釈剤および/または溶剤、ならびに殺菌剤および難燃剤

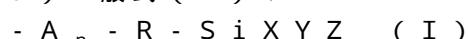
を含む請求項1~5のいずれかに記載の硬化性組成物。

【請求項7】

請求項1~6のいずれかに記載の硬化性組成物の製造方法であって、

少なくとも、

(a)一般式(I) :



[式中、

Aは2価の結合基であり、

Rは、場合によりヘテロ原子を含む炭素数1~12の2価の炭化水素基であり、

X、Y、Zは、互いに独立して、C₁~C₈アルキル基、C₁~C₈アルコキシ基またはC₁~C₈アシルオキシ基であり、少なくとも1つの基がC₁~C₈アルコキシ基または

は C₁ ~ C₈ アシルオキシ基であり、

[n は 0 または 1 である]

で示される少なくとも 1 つの末端基を有する少なくとも 1 つのポリエーテルおよび / または
は少なくとも 1 つのポリアクリル酸エステル、および

(b) 少なくとも 1 つの有機スズ化合物、

(c) スズおよびケイ素原子を含まず、それぞれ、カルボキシ基、カルボニル基、ヒドロ
キシ基および本来芳香族環系の一部である窒素原子から選択される少なくとも 2 つの官能
基を有する化合物であって、該成分 (c) が少なくとも 1 つの N - 複素環式芳香族化合物
または - ヒドロキシカルボン酸を含み、N - 複素環式芳香族化合物が 8 - ヒドロキシ
ノリン、2 - ヒドロキシキノリン、7 - ヒドロキシ - 3H - インドール、8 - ヒドロキシ
キノキサリン、8 - ヒドロキシキナゾリン、8 - ヒドロキシシンノリン、4 - ヒドロキシ
フェナントリジン、4 - ヒドロキシアクリジンおよび 1 - ヒドロキシフェナジン (それぞ
れさらなる置換基を有することができる) を含む少なくとも 1 つの化合物

をともに混合する方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の硬化性組成物の、または、請求項 7 に記載の方法によ
り製造された硬化性組成物の、接着剤、封止剤またはコーティング組成物としての使用。